

2023年6月15日(木)
18時30分～19時50分
@子どもセンターつるっこ
2階多目的室「ぴゅあ」

2023年度第1回 子どもセンターつるっこ運営委員会 会議録

1 挨拶

○子どもセンターつるっこ運営委員会 委員長

4月16日の「あにばーさりい18」は皆様にお手伝いいただきながら盛大な1日となり、ありがとうございました。今回からは運営委員会のメンバーも新しくなったため、後ほど皆様には自己紹介をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 委嘱書交付

3 職員紹介

4 報告(子どもセンターつるっこ職員から)

(1) 2022年度利用者数及び事業報告(資料参照)

○利用者数

- ・2022年度は、年間を通して48,962人にご利用いただきました。
- ・2021年度と比べて利用者数は約30%増加した。その要因として、2021年度は10月～11月に空調の改修工事があり、その間の利用者が少なかったことが考えられる。2021年10月に比べ2022年10月は利用者数が約60%増加し、同じく11月は約80%増加した。
- ・7月～8月の夏休み期間は、コロナの感染拡大のため利用者が少なかった。3月はマスクの着用が個人の判断になったため2月と比べて利用者が倍増し、久しぶりに大混雑した。
- ・学齢別に2021年度と2022年度を比較すると、2022年度の乳幼児利用者は72%増加した。これは、新型コロナの影響が少なくなってきたこと、2022年5月に鶴川地域子育て相談センターがつるっこに併設されたことによる増加と考えられる。中高生は約23%増加し、以前のように利用者が戻ってきている。小学生は約8%のみ増加した。小学生の増加率が乳幼児・中高生に比べて少ないことは、つるっこ以外に「まちとも」や「冒険遊び場」などの居場所が増えたことが影響していると考えられる。加えて、2021年度に「つるっこ学童保育クラブ」が終了したことで、学童を利用していた小学生の人数が2022年度の利用者には含まれていないことも影響している。
- ・配付資料には掲載していないが、コロナ以前である2018年度と2022年度を比較したところ、2022年度の乳幼児利用者は2018年度の約80%だった。中高生は約84%で、小学生は約58%であった。
- ・2023年度は、2018年度までとはならないと思うが利用者数は増加すると見込んでいる。

○事業報告

「2022年度事業報告集」の中から抜粋し、写真とともに紹介。

・たまたばことあそぼう

和光大学児童文化研究会「たまたばこ」の学生と毎月1回土曜日に遊べる事業。学生が毎月違う遊びを考えてきてくださっており、ハンカチ落としやしっぽとり、鬼ごっこなどで毎回学生約5名が2時間全力で遊んでくださる。これを目的に来館する小学生も大勢いる。

「たまたばこ」の学生はあにばーさりいなどのイベントでも企画を出してくださっていて、以前の鶴涼祭では大きなシャボン玉が作れる企画もあった。

・チャレンジ★ダンス

もともとチアリーディングをしていた大学生がボランティアとしてダンスの講師を務めた。「あにばーさりい18」での発表をゴールとして全8回実施。小学生9名が参加し、スタジオゆめの鏡の前で一生懸命にダンスの練習を行った。講師は子どもたちの意見をしっかりと聞いてくださり、アイデアを取り入れながら発表を考えてくれた。

本番では、子どもたちがそれぞれ好きな色のポンポンを持ってみんなの前で発表することができた。

・金井ランド

相談センターとの共催事業で、金井地域の乳幼児向けに金井クラブにて実施。初回の周知は子どもセンターつるっこでのチラシ配布とポスター掲示、鶴川地域子育て相談センター事業のみだったにも関わらず、多くの方にお越しいただくことができた。金井クラブの近所にお住まいの方が気軽に徒歩や自転車でいらしたようで、車での来館は見られなかった。

つるっこの担当者は季節の工作进行を準備し、相談センターの担当者はペープサートと紙芝居を実施した。

つるっこには遠くて来られない方向けに実施している事業で、金井地域以外にも需要や場所の確保がクリアできれば、今後は子育て世代の増えている他地域でも実施していきたい。

・ふれあい動物ランド

移動動物園業者に委託して芝生広場に1日限りのミニ動物園を設ける事業で、毎年好評をいただいている。11月に開催予定だったが天候の都合で延期になり、3月に開催した。

「ふれあい体験」と「スタッフ体験」の2つを組み合わせる実施。「ふれあい体験」は0歳～18歳までとその保護者を参加対象として行った。うさぎやひよこ、ヤギなどとの触れ合いを通して心穏やかな時間を過ごすことや、生き物との交流を体感することで命を大事にする気持ちや動物に対する優しい気持ちを育むことを目的に実施した。また、「スタッフ体験」は小学4年生～18歳を参加対象として行い、動物に関わる仕事に触れて魅力や苦勞を知ることが目的とした。スタッフ体験には小学生3名と中学生1名が参加した。2つの体験を合わせた参加者は、乳幼児94名、小学生24名、保護者100名であった。

午前中は予約していた参加者でいっぱいだったが午後には余裕が出たため、飛び入りで参加を希望した子どもたちも午後から加わった。普段のプログラムでは見られない子どもたちの姿を見ることができ、職員としても幸せな時間を過ごすことができた。予算は限られているものの、今後も芝生広場などつるっこの施設を活用していきたい。

(2) 開館 18 周年記念イベント「あにばーさりい 18」(資料参照)

委員長：本日の出席者の中には「あにばーさりい 18」に関わった方が多かったが、反省点など
はありますか。子ども委員会はどうでしょうか。

委員：大きなイベントが久しぶりだったために予想がつかず、ヨーヨー釣りではヨーヨーを
150 個ほど用意したにも関わらず開始 1 時間ほどですべて無くなってしまい、急いで
作り足したが大変でした。

委員長：第二地区委員会・第三地区委員会はどうでしたか。

委員：フランクフルトは販売個数を想定するのが難しかったです。500 個用意したが、早めに
売り切れました。3 年前のあにばーさりいの仕入れ業者さんが廃業してしまったため、
今回は原価が上がってしまった。販売価格は据え置いたため、結果として赤字になり
ました。

委員：わたあめは、お子さんが喜んでくださったのが嬉しかった。PTA のお手伝いでは 9 名
が来てくださり、その方々も楽しそうだった。携わっていて楽しい 1 日だった。

委員長：つるっこ応援し隊さんはどうでしたか。

委員：バザーやラーメンで若干の利益があった。次のイベント等で還元したい。

委員長：第一地区委員会では竹でっぼうをしました。夢中になって遊んでくれる子もいたので、
賑わっていてよかったと思う。

(3) 2023 年度事業計画

○子ども若者の参画推進 (資料参照)

子どもセンターではオープン前から子ども委員会を設置し、運営方法に子どもたちの意見を反
映させてきた。今後も、地域の若者が地域のためにやりたいと思ったことを応援していきたい。

『まちだ若者大作戦』(2023 年度～2025 年度 3 年間)

委員長：現在の応募状況は？

館長：相談を受けているものはいくつかありますが、もしお近くに心当たりのある方がいれ
ばご紹介いただきたいと思っています。つるっこの職員もサポートします。

○地域連携の推進

2023 年度も引き続き地域連携を推進し、子どもたちと地域の方々の交流の場の提供や団体への
支援を行っていきたい。2022 年度には和光大学「たまてばこ」の活動を見た金井小学校のボラ
ンティアコーディネーターの方からたまてばこの学生を紹介してもらえないかお声掛けがあり、
紹介する事例があった。つるっこと繋がりのある団体同士の紹介はできるため、困っていること
があればお声掛けいただきたい。

委員長：なるべく若い人が協力してくれた方が子どもたちにとっては年齢の近い人たちからの
協力をもらえるということなので、今後も地域連携の PR を頑張ってください。

○主な事業予定

・鶴涼祭 8 月 6 日 (日) 13 時～16 時 30 分開催予定

当日は、つるっこ応援し隊には食べ物販売を、第一地区委員会には竹でっぼうを、青少年委員
会には工作をお願いしたいと考えている。コロナ対策は実施しない。

委員：子ども委員会が企画するコーナーとして、迷路・工作をしようと頑張っています。いろいろなアイデアを出していきたいので、何か良い案があれば教えてください。

委員：青少年委員は8月9日に別のイベントに参加するため、工作は検討します。

委員：食べ物はかき氷だけでは物足りないかと考えているが、人手不足のため、当日はお手伝いをお願いしたいです。電動のかき氷機が使えれば嬉しいので、以前使っていたものが今も使えるか試しておいて欲しいです。

・ホットフェス 12月17日（日）開催予定

○情報交換

委員長：子ども委員会は今何人が参加していますか。

委員：所属しているのは14人くらいですが、毎回参加しているのは4～6人です。

委員長：小学校でのマスクの着用状況はどうですか。

委員：着用は強制にせず、自由にしてもらっています。低学年は7割ほどが外していますが、高学年は反対に7割ほどが着用しています。

委員長：インフルエンザも流行っているようですが。

委員：大蔵小学校では少人数です。熱中症が心配なのでマスクは外すように言っているが、外したがる子も多いです。

委員：中学校の運動会ではマスクをつけながら徒競走をしている子もいたようです。

委員長：運動会ではテントをたくさん立てていました。中学生のマスクの着用状況はどうですか？

委員：中学校でマスクを外しているのはクラスに3～4人です。体育でも外さない子が多いです。運動会でも、先生が「外しなさい！」と声をかけていました。

委員長：高学年がやはり外さないのが深刻ですね。

青少年委員の8月9日のイベントはどのように周知しますか？

委員：小学校で夏休み直前に配布されるリーフレットで周知します。

館長：全部で2万5,000部ほど発行される予定です。紙で配られる方が皆さん見てくださいます。

委員長：本日は長い間お疲れさまでした。ありがとうございました。

以上

【次回の運営委員会】2023年10月19日（木）18時30分～